

2011 道東TCM 5月 報告書(U-13)

期 日 平成23年5月3日(火)
会 場 北見モイワスポーツワールド

1. 参加選手 (計16名)

森本 優吾、阿部 将之、工藤 丈斗、石黒 倅吉、高橋 里駆、淵上 健太、
斉藤 俊介、一戸 拓斗、木村 拓真、佐々木 拓人 (以上 R. シュペルブ)
山寄 大生 (幣舞)、 大山 頌弘 (青陵)、 宮部 将伍 (鳥取西)、
小林 青葉 (桜ヶ丘)、 和田 陽輝、菊池 勇人 (遠矢)

2. はじめに

今回の遠征に先立ち、冬のトレーニングで積み上げてきたことを確認してゲームに入った。

①判断を伴ったプレー。「単純に蹴らない」「パスをつなぐ」など。

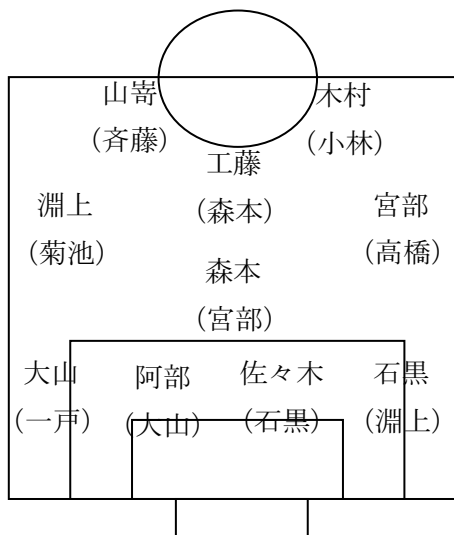
②激しく運動量の多い動きや粘り強いDF

③攻撃・守備両面でよく「観て」プレーすること

を意識させながらゲームに臨んだ。経験を重ねるごとに個々のコミュニケーションがとれ、意志統一を欠いたぎくしゃくしたゲーム展開は少なくなってきた。また、選手たちには学校のチームとは異なるポジションを経験することも要求し、柔軟な対応とプレーの幅を広げていくことの大切さを伝えてきた。

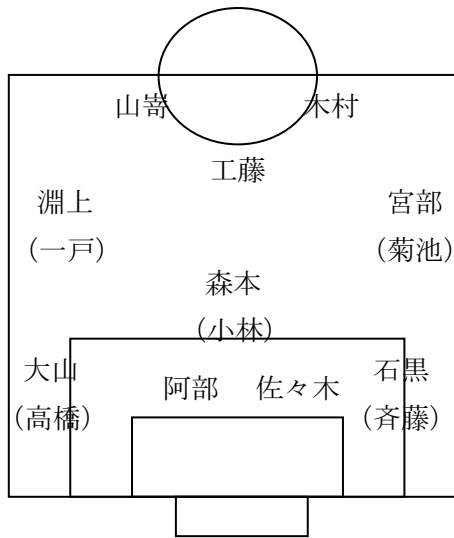
3. ゲーム

① 1 試合目 vs 網走



相手は23人を選考しており、前半がAメンバー、後半がBメンバーであった。前半は裏へのスペースも狙う動きが少なく、くさびばかりであり、狙われてとられる場面が多かった。全体的にサポートも遅く、出し手も出しどころがなく、結局奪われる場面が多かった。ハーフタイムには優先順位を意識し裏を狙うこと、サポートを早くすること、積極的にシュートを打つこと、攻守の切り替えを早くすること、インターセプトを狙える位置にポジションを取ることなどを確認した。選手は意識してプレーするようになり、点数が多く入ったが、相手もメンバー落ちしていたことや、効果的に崩しての得点は少なかった。

② 2 試合目 vs 根室



相手はインフルエンザの影響で11人だけであり、十分なメンバーではなかった。プレッシャーも比較的軽く、点が入る場面が多かったが、ねらってのくずしではなく、個人の突破や裏へのスペースで受け、GKと1対1になっての得点が多かった。しかし、効果的なロングシュートがあったり、CKからのつめのゴールがあったりと、ボールに対しての集中力や粘り強さが見られた。

後半、プレッシャーがない分、ボールが動くようにはなかったが、2人目、3人目のサポートの動きがなく縦パス一本の攻撃が多かった。攻守の切りかえも遅く、全体的にしまりのない感じのままゲームが終わってしまった。

4. 現状と課題

① ベーシックスキル

基本的なパス&コントロールは身につけている選手が多かった。相手からコンタクトを受けてもボールを失わずにプレーすることはできたが、そのコンタクトを受けながら味方へ正確なパスをすることができず、ボールを失ってしまうことが多かった。また、少しでもプレッシャーがかかると(きついと感じるものはなかったが…)、簡単に後ろを向いてプレーする、慌ててボールを失ってしまう場面が多くみられた。

② 守備

Offでの準備が全くなく、インターセプトすることができない。選手は「守備で一番狙うことは？」と尋ねると、「インターセプト！」と答えるが、習慣化されていないためにゲームの中で実行することができない。また、ボールを奪いきる意識がなく、マークすべき相手選手の近くにいることはしているが、ボールが入ると意味もなく下がってしまい、相手にフリーな状態で前を向かれてプレーされてしまう場面が多かった。

③ 攻撃

得点を入れた場面は、相手のミスによる得点ばかりであり、チームとしてボールに対してかかわりが少なく、ボール保持者がプレッシャーを受けて困ってからサポートにいたり、数的優位な状況を意図的に作っての攻撃が全く見られなかった。

5. 今後について

4種から同じ仲間プレーしてきたため、コミュニケーションをとったり、スタッフからの課題に取り組み、実践しようとする気持ちと、相手に負けずに闘おうとする姿勢が素晴らしかった。オフザピッチについても問題なく、遠征慣れしている選手がほとんどだった。

今後は、釧路トレセンとして、どのようなサッカーを目指していくのかを、私達スタッフも現代サッカーのトレンドを勉強して、誰が監督・コーチになっても共通してコーチングできるようになっていくことが必要ではないだろうか。

また、U-13の5月はまだ3種での活動時間が短く、特にトレセンでは冬季トレセンで見ても、外のサッカーでは釧路リーグの数試合のみとなかなか選手の特徴をつかみきれないでいる。今後のリーグや監督推薦選手の中から選手を発掘し、全体的な質の底上げをしていきたい。

文責：釧路トレセンU-13チーフ 八城 雅彦

《最後に…各チーム指導者の皆様へ》

**トレセンデー(水曜日)には、ぜひトレセン会場へ
トレーニング見学にいらしてください！**

・CENTRAL:河畔A[文苑側]
・U14 :春採中
・U13 :鳥取中

**30分だけでも1時間
でもOKです！**

※トレーニングを見学していただき、1つでも2つでもメニューを

持ち帰っていただくだけでもOKです。そのメニューをそのまま

チームで使ってもらえることがスタッフの願いでもあります。

3会場、どこでも構いません。近所の会場、チームの選手が参加

している会場 etc…

釧路に住んでいても、夢を持ってサッカーに取り組んでいる、すべての選手たちのために、何とかよりよいトレーニング環境を与えてあげたい、そして釧路サッカーに関わる全ての人たちで、日本サッカーの目指している方向性を共有して進んでいきたいと願っております。